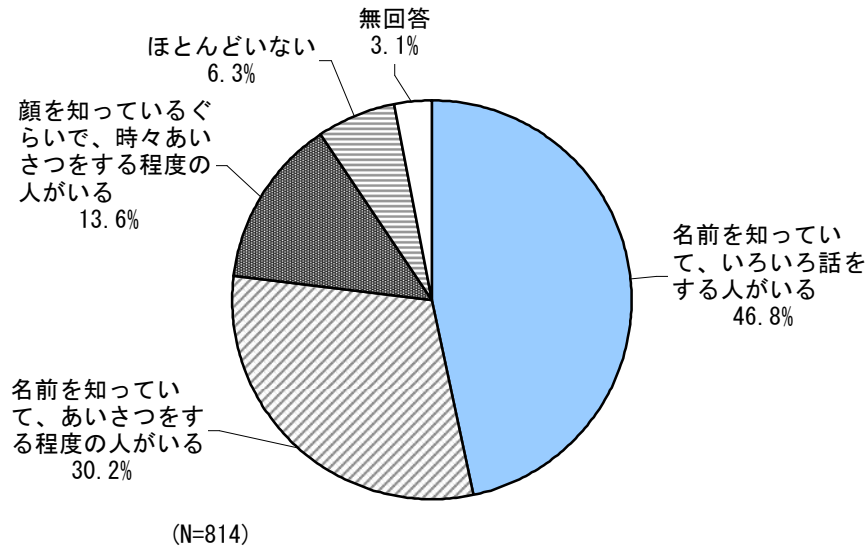


3. 地域での生活状況

(1) 近所に会話をする人の有無

問 あなたは、近所に話をしたりする人はいますか。(最もあてはまるものに○は1つだけ)

【図Ⅲ-3-1 近所で会話をする人の有無】

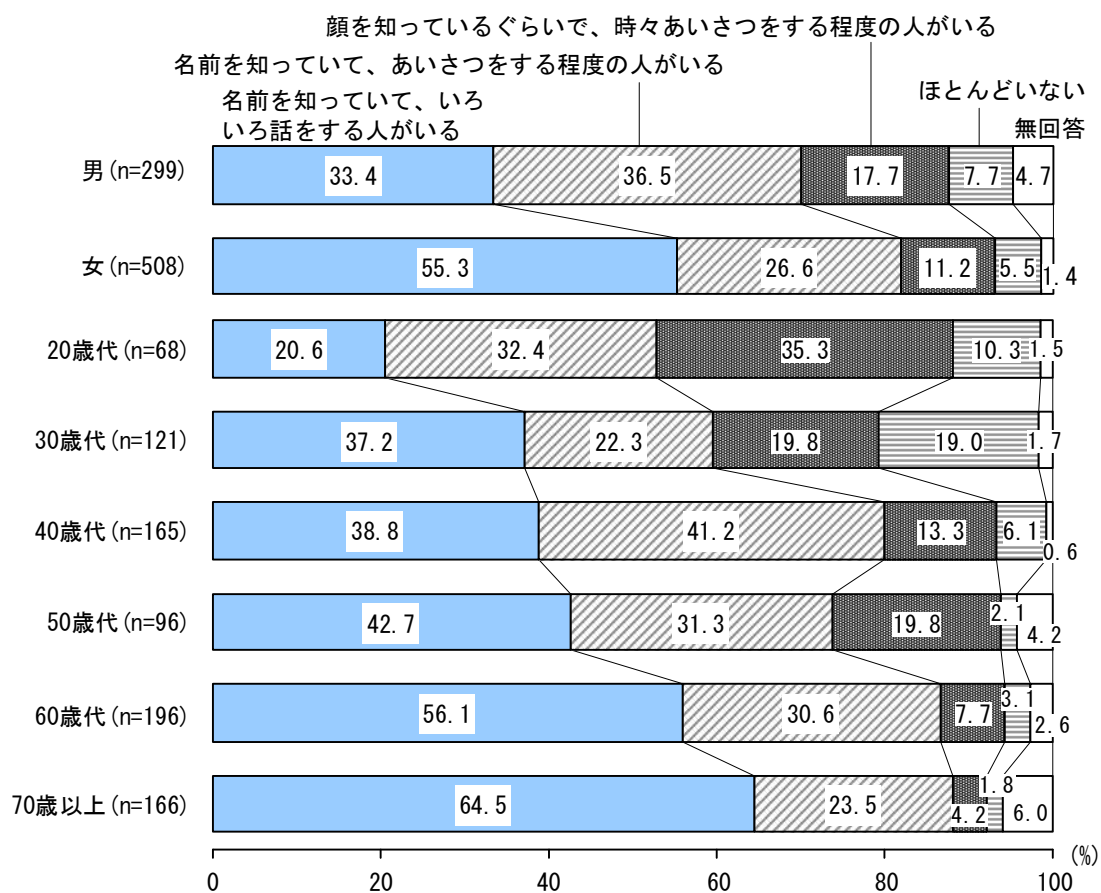


近所で会話をする人の有無については、「名前を知っていて、いろいろ話をする人がいる」が46.8%で最も高く、次いで「名前を知っていて、あいさつをする程度の人がある」が30.2%、「顔を知っているぐらいで、時々あいさつをする程度の人がある」が13.6%となっている。(図Ⅲ-3-1)

性別でみると、男は「名前を知っていて、あいさつをする程度の人がある」(36.5%)が最も高いが、女は「名前を知っていて、いろいろ話をする人がいる」(55.3%)が最も高くなっている。

年齢別でみると、「名前を知っていて、いろいろ話をする人がいる」は年齢が上がるにつれて割合が高くなり、70歳以上(64.5%)で最も高くなっている。一方、20歳代では「顔を知っているぐらいで、時々あいさつをする程度の人がある」(35.3%)が最も高くなっている。また、30歳代では「ほとんどいない」が19.0%と、他の年代に比べて高くなっている。(図Ⅲ-3-1-①)

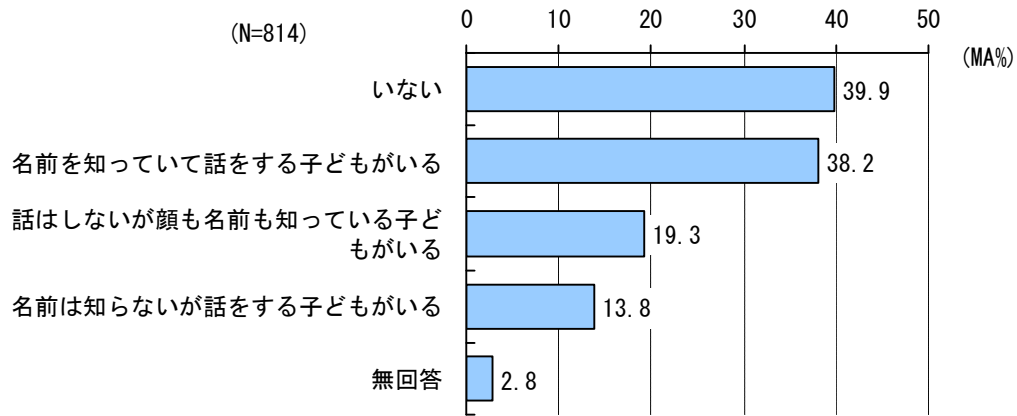
【図Ⅲ-3-1-① 性別・年齢別 近所で会話をする人の有無】



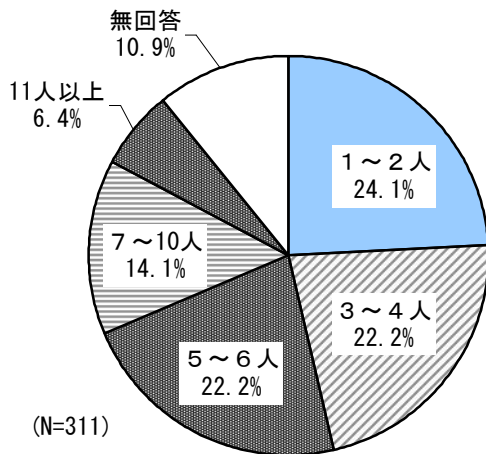
(2) 近所に話をしたりする子どもの有無

問 あなたは、近所に話をしたりする子どもがいますか。(あてはまるものすべてに○)

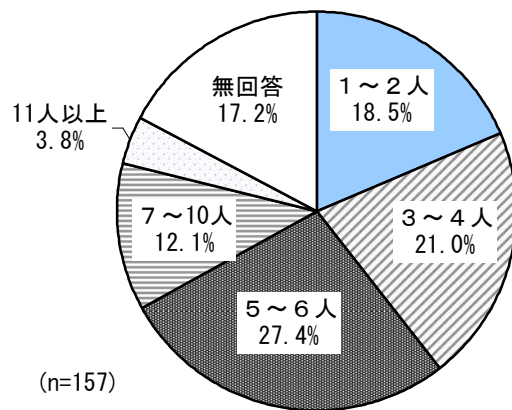
【図Ⅲ-3-2 近所に話をしたりする子どもの有無】



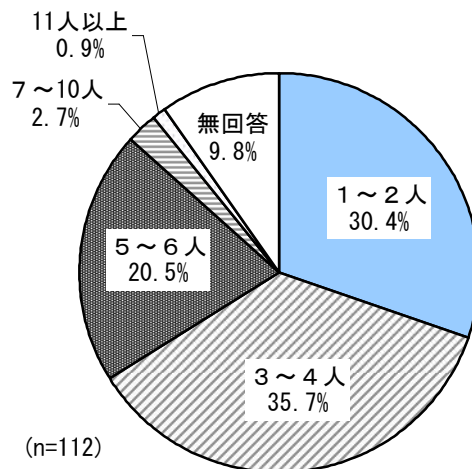
【図Ⅲ-3-2-1 名前を知っていて話をする子どもの人数】



【図Ⅲ-3-2-2 話はしないが顔も名前も知っている子どもの人数】



【図Ⅲ-3-2-3 名前は知らないが話をする子どもの人数】



近所に話をしたりする子どもの有無については、「いない」が39.9%で最も高く、次いで「名前を知っていて話をする子どもがいる」が38.2%、「話はしないが顔も名前も知ってい

Ⅲ-2 20歳以上の調査の結果

「子どもがいる」が19.3%、「名前は知らないが話をする子どもがいる」が13.8%となっている。(図Ⅲ-3-2)

「名前を知っていて話をする子どもがいる」と回答した人に、その子どもの人数をたずねると、「1～2人」が24.1%で最も高く、次いで「3～4人」と「5～6人」(共に22.2%)であり、平均人数は5.6人となっている。(図Ⅲ-3-2-1)

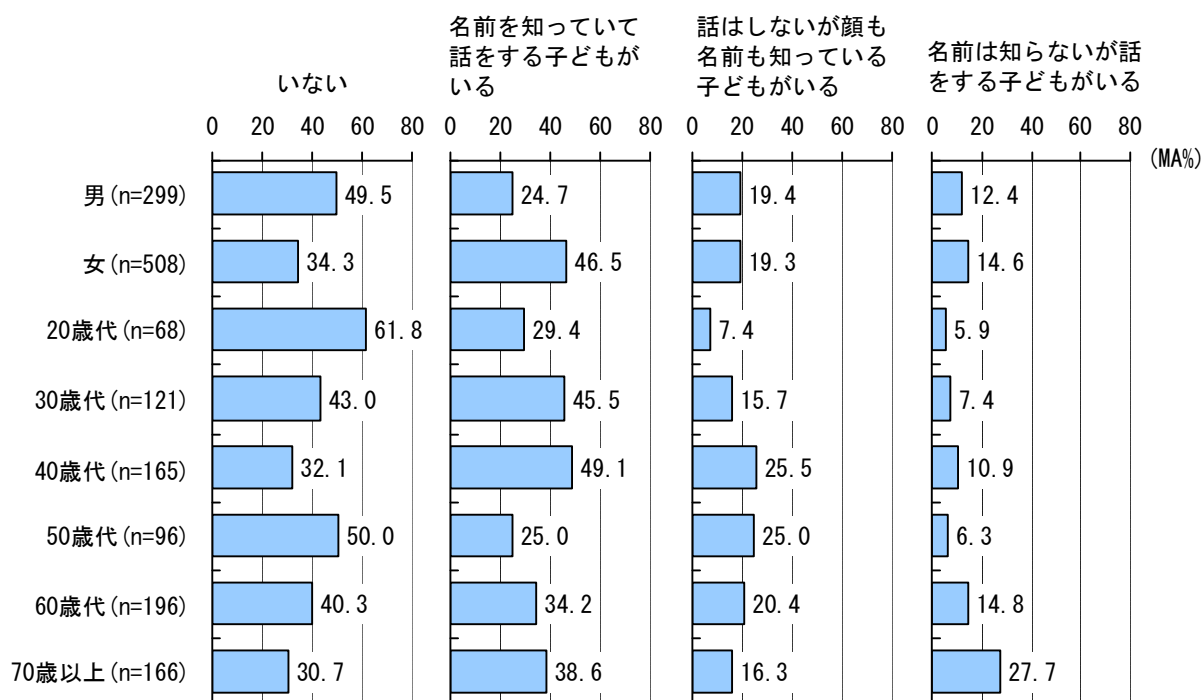
「話はないが顔も名前も知っている子どもがいる」と回答した人に、その子どもの人数をたずねると、「5～6人」が27.4%で最も高く、次いで「3～4人」が21.0%、「1～2人」が18.5%であり、平均人数は5.7人となっている。(図Ⅲ-3-2-2)

「名前は知らないが話をする子どもがいる」と回答した人に、その子どもの人数をたずねると、「3～4人」が35.7%で最も高く、次いで「1～2人」が30.4%、「5～6人」が20.5%であり、平均人数は3.4人となっている。(図Ⅲ-3-2-3)

近所に話をしたりする子どもの有無について性別でみると、「いない」は女(34.3%)より男(49.5%)のほうが15.2ポイント高く、「名前を知っていて話をする子どもがいる」は男(24.7%)より女(46.5%)のほうが21.8ポイント高くなっている。

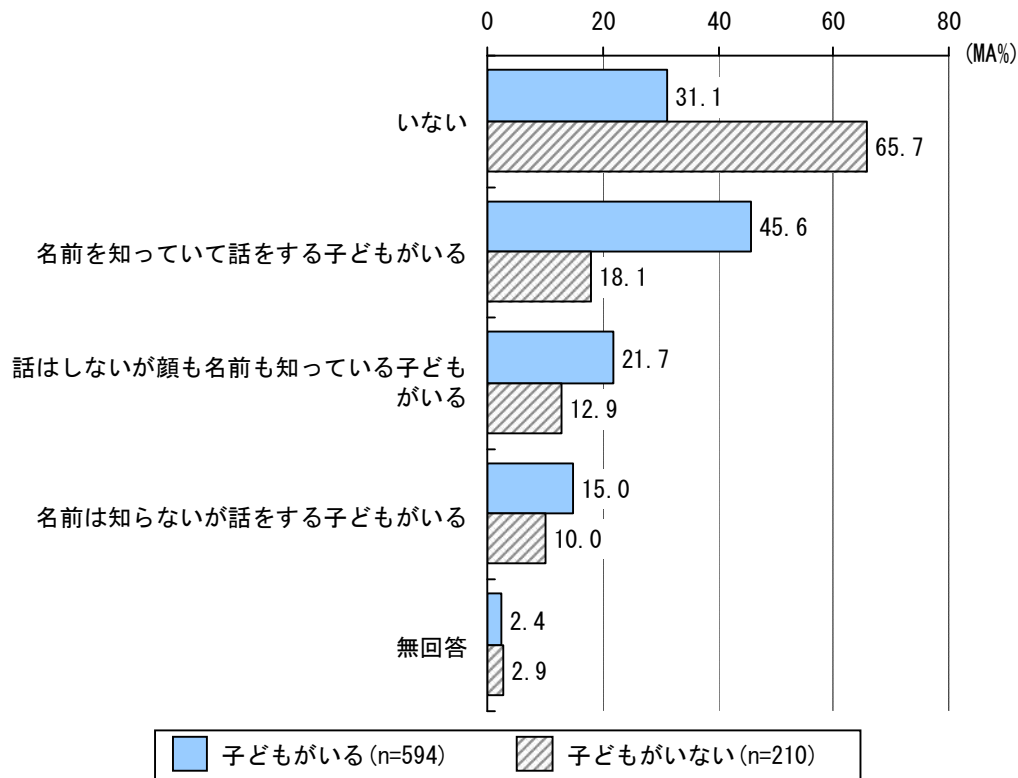
年齢別でみると、20・50・60歳代は「いない」が最も高く、30・40歳代、70歳以上は「名前を知っていて話をする子どもがいる」が最も高くなっている。(図Ⅲ-3-2-①)

【図Ⅲ-3-2-① 性別・年齢別 近所に話をしたりする子どもの有無】



子どもの有無別でみると、近所に話をしたりする子どもが「いない」の割合は、子どもがいる人（31.1％）に比べて、いない人（65.7％）のほうが34.6ポイント高くなっている。それ以外の項目の割合は、子どもがいる人のほうが高くなっている。（図Ⅲ-3-2-②）

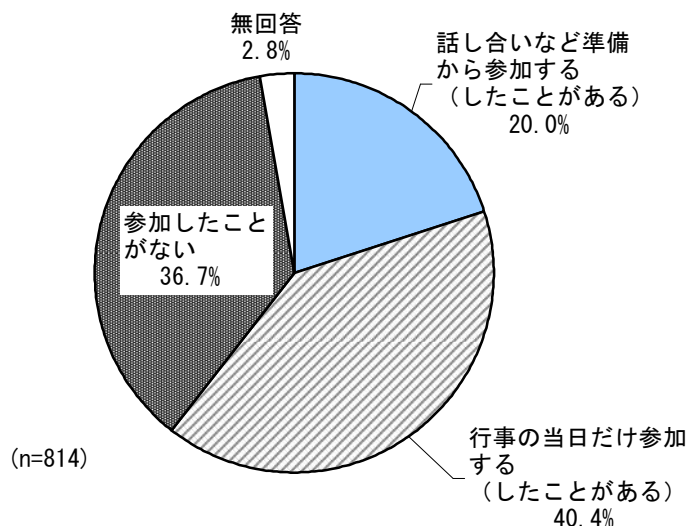
【図Ⅲ-3-2-② 子どもの有無別 近所に話をしたりする子どもの有無】



(3) 祭りやイベント等への参加状況

問 あなたはお祭り等の地域の行事に参加しますか。(○は1つ)

【図Ⅲ-3-3 祭りやイベント等への参加状況】

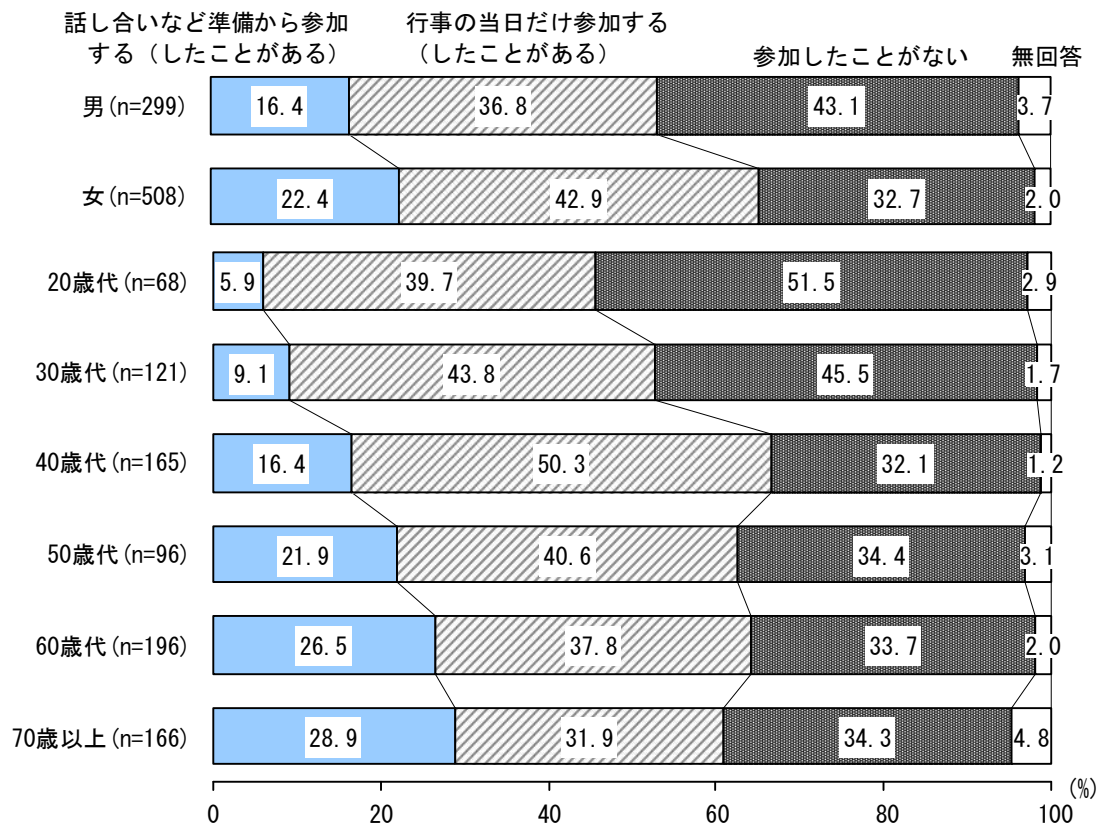


祭りやイベント等への参加状況については、「行事の当日だけ参加する (したことがある)」が40.4%で最も高く、次いで「参加したことがない」が36.7%、「話し合いなど準備から参加する (したことがある)」が20.0%となっている。(図Ⅲ-3-3)

性別でみると、男は「参加したことがない」(43.1%)が最も高いが、女は「行事の当日だけ参加する (したことがある)」(42.9%)が最も高くなっている。

年齢別でみると、「話し合いなど準備から参加する (したことがある)」の割合は、年齢とともに高くなっており、70歳以上(28.9%)が最も高くなっている。一方、「参加したことがない」は20～30歳代で最も高く、30歳代(45.5%)に比べて20歳代(51.5%)のほうが高くなっている。(図Ⅲ-3-3-①)

【図Ⅲ-3-3-① 性別・年齢別 祭りやイベント等への参加状況】

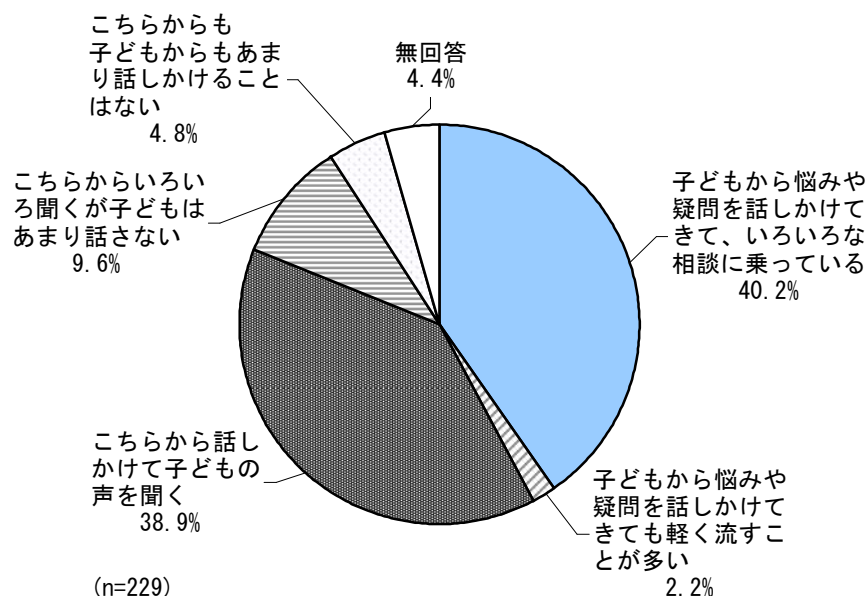


4. 相談について

(1) 子どもからの相談への対応状況

問 あなたはお子さんの悩みや疑問などの相談に乗りますか。(○は1つ)

【図Ⅲ-4-1 子どもからの相談への対応状況】

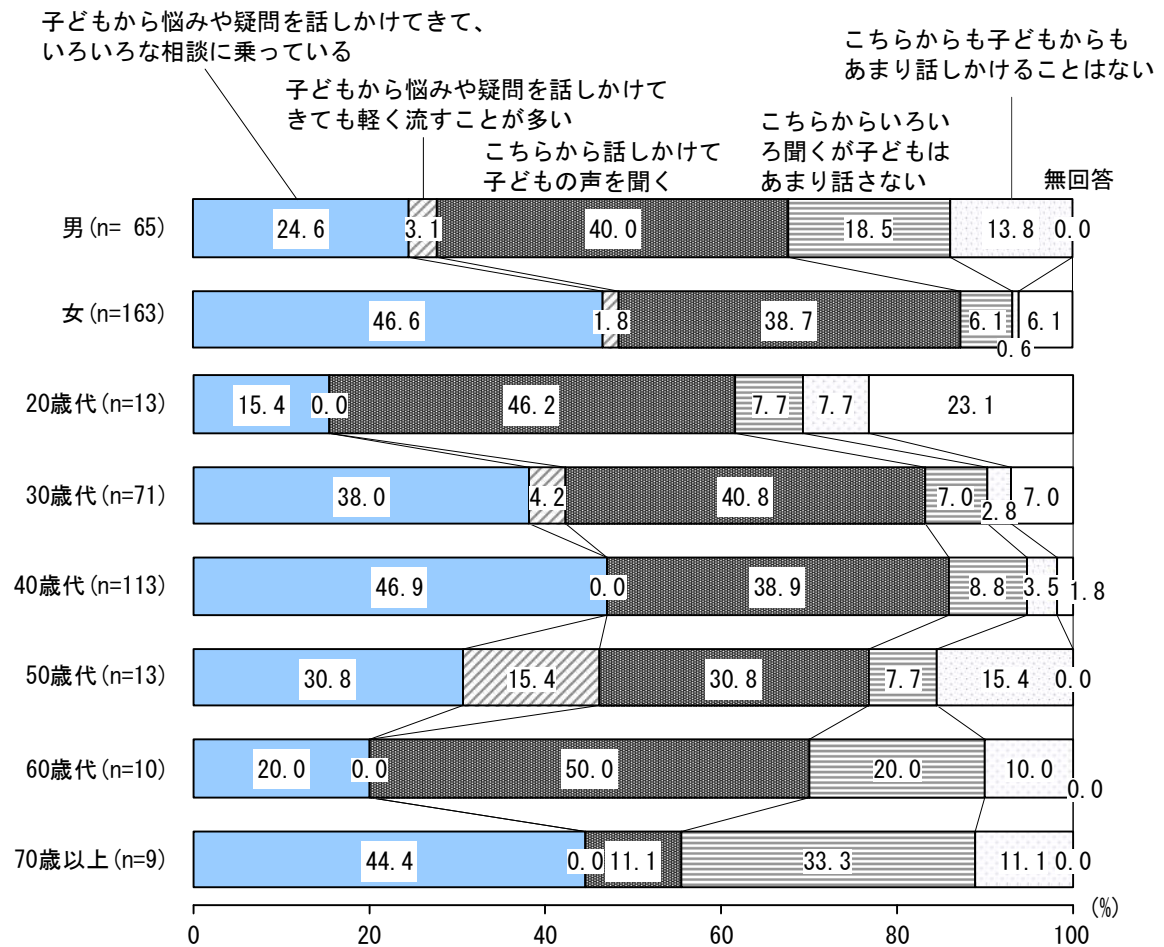


子どもからの相談への対応状況については、「子どもから悩みや疑問を話しかけてきて、いろいろな相談に乗っている」が40.2%で最も高く、次いで「こちらから話しかけて子どもの声を聞く」が38.9%、「こちらからいろいろ聞くが子どもはあまり話さない」が9.6%となっている。(図Ⅲ-4-1)

性別でみると、男は「こちらから話しかけて子どもの声を聞く」(40.0%)が最も高いが、女は「子どもから悩みや疑問を話しかけてきて、いろいろな相談に乗っている」(46.6%)が最も高くなっている。また、「こちらからいろいろ聞くが子どもはあまり話さない」と「こちらからも子どもからもあまり話しかけることはない」は、男のほうが高い割合となっている。

年齢別でみると、40歳代、70歳以上では「子どもから悩みや疑問を話しかけてきて、いろいろな相談に乗っている」が最も高くなっている。また、50歳代はこれに加えて、「こちらから話しかけて子どもの声を聞く」も高くなっている。「こちらからいろいろ聞くが子どもはあまり話さない」は60歳以上の年代で2割以上を占めている。(図Ⅲ-4-1-①)

【図Ⅲ-4-1-① 性別・年齢別 子どもからの相談への対応状況】

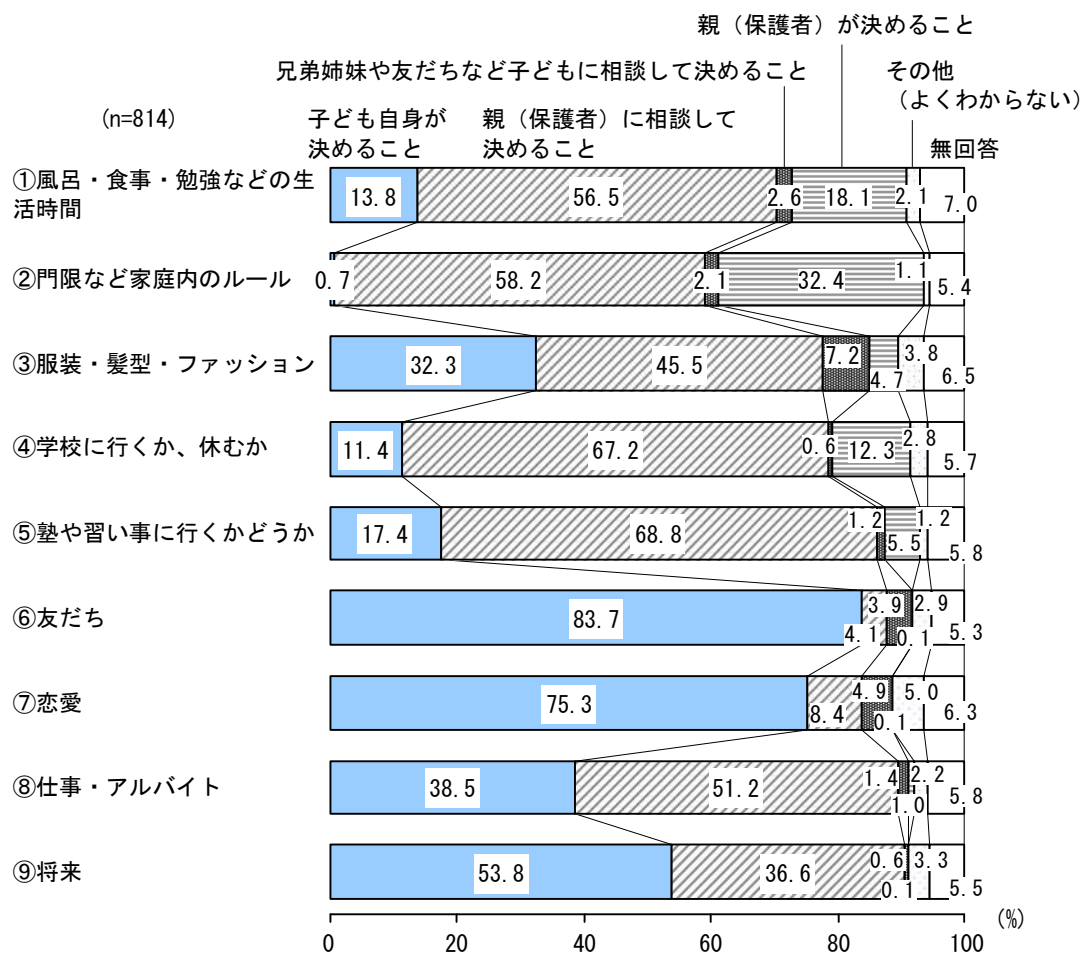


5. 自己決定について

(1) 子どもの自己決定の状況

問 次の設問について、あなたはどのように思いますか（設問ごとにあてはまるもの1つに○）

【図Ⅲ-3-5 子どもの自己決定の状況】



子どもの自己決定の状況についてたずねた。

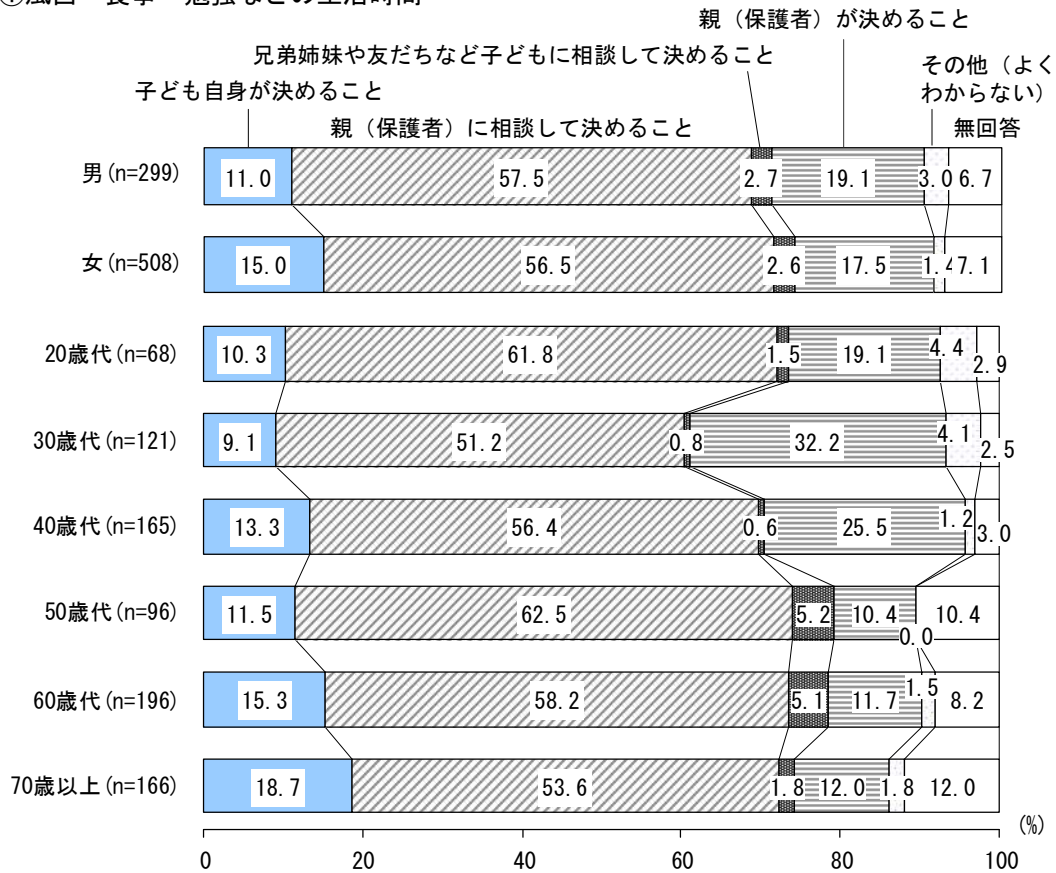
「子ども自身が決めること」は“⑥友だち”（83.7%）が最も高く、次いで“⑦恋愛”（75.3%）、“⑨将来”（53.8%）となっている。「親（保護者）に相談して決めること」は“①風呂・食事・勉強などの生活時間”（56.5%）、“②門限など家庭内のルール”（58.2%）、“④学校に行くか、休むか”（67.2%）、“⑤塾や習い事に行くかどうか”（68.8%）、“⑧仕事・アルバイト”（51.2%）が過半数を占めている。「親（保護者）が決めること」は“②門限など家庭内のルール”が32.4%と他の項目に比べて高くなっている。（図Ⅲ-3-5）

性別でみると、“①風呂・食事・勉強などの生活時間”と“③服装・髪型・ファッション”、“④学校に行くか、休むか”、“⑥友だち”、“⑧仕事・アルバイト”、“⑨将来”では「子ども自身が決めること」の割合が男に比べて女のほうが高くなっている。また、“②門限など家庭内のルール”、“④学校に行くか、休むか”、“⑤塾や習い事に行くかどうか”、“⑦恋愛”、“⑨将来”では、「親（保護者）に相談して決めること」の割合も女のほうが高くなっている。

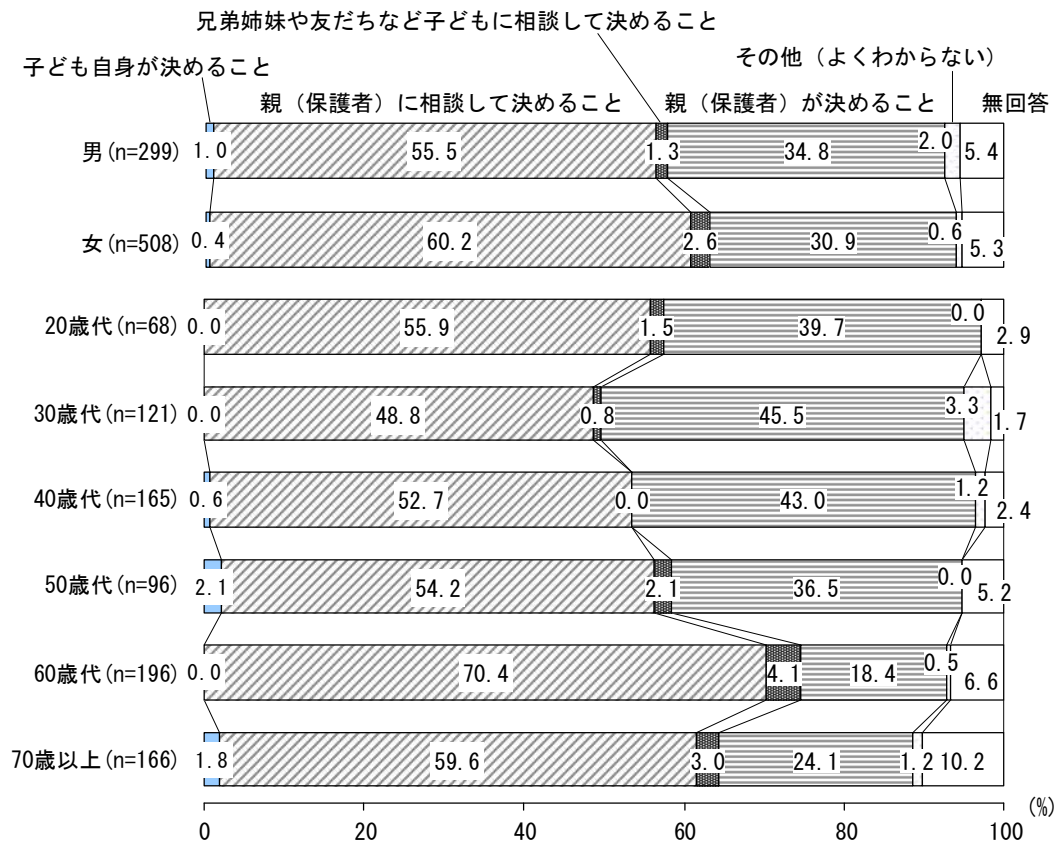
年齢別では、「子ども自身が決めること」の割合は“服装・髪型・ファッション”と“将来”は20歳代が最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。“友だち”は20～50歳代で約9割を占め、“恋愛”、“仕事・アルバイト”は20・30歳代の割合が高くなっている。（図Ⅲ3-5-①、①～⑤）

【図Ⅲ-3-5-① 子どもの自己決定の状況①】

①風呂・食事・勉強などの生活時間

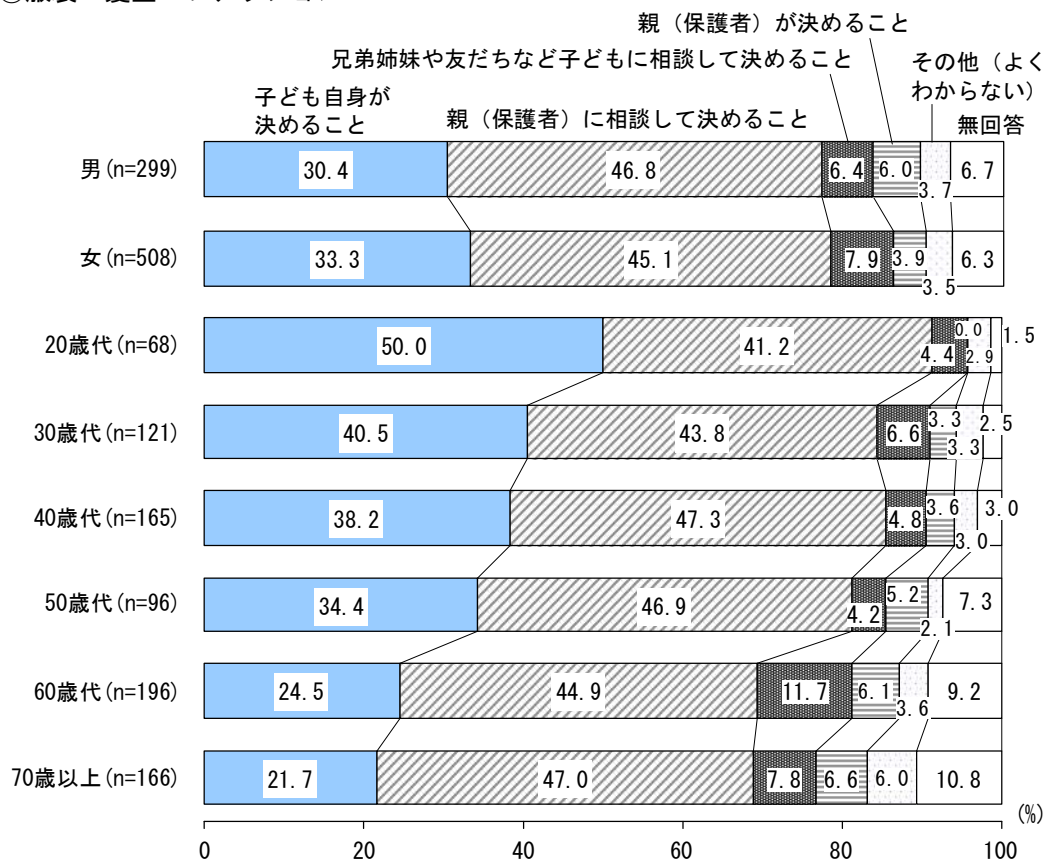


②門限など家庭内のルール

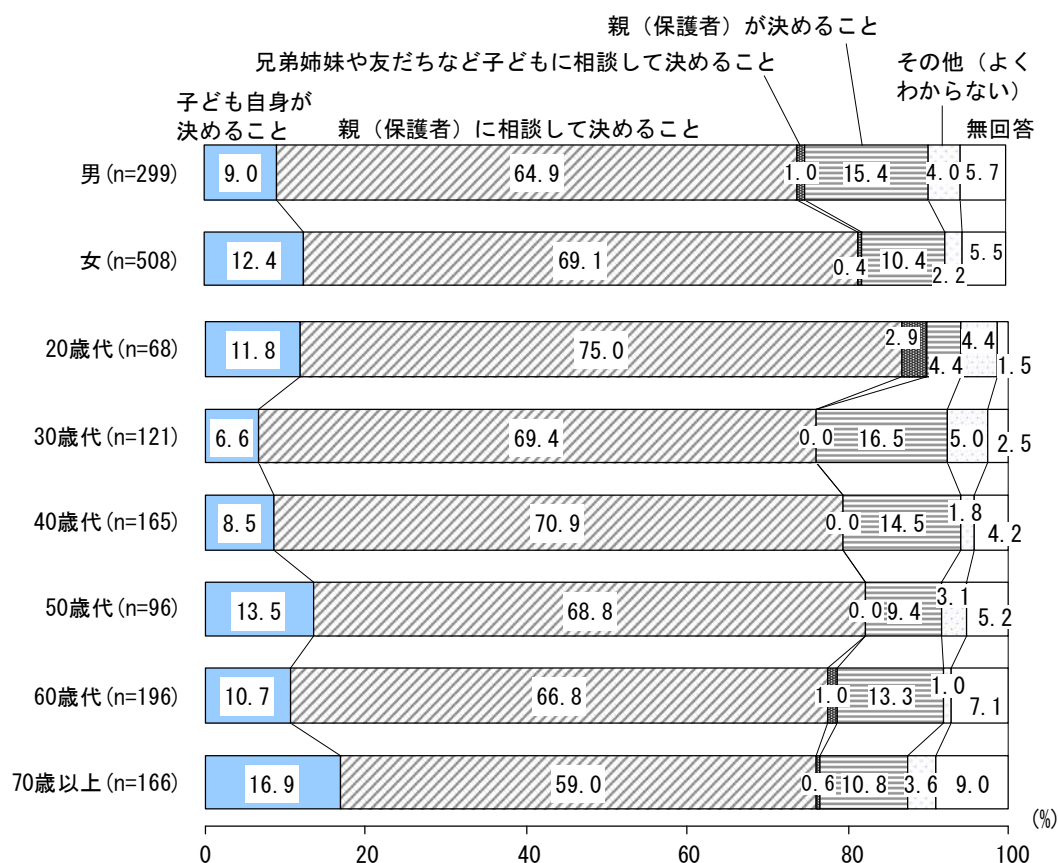


【図Ⅲ-3-5-① 子どもの自己決定の状況②】

③服装・髪型・ファッション

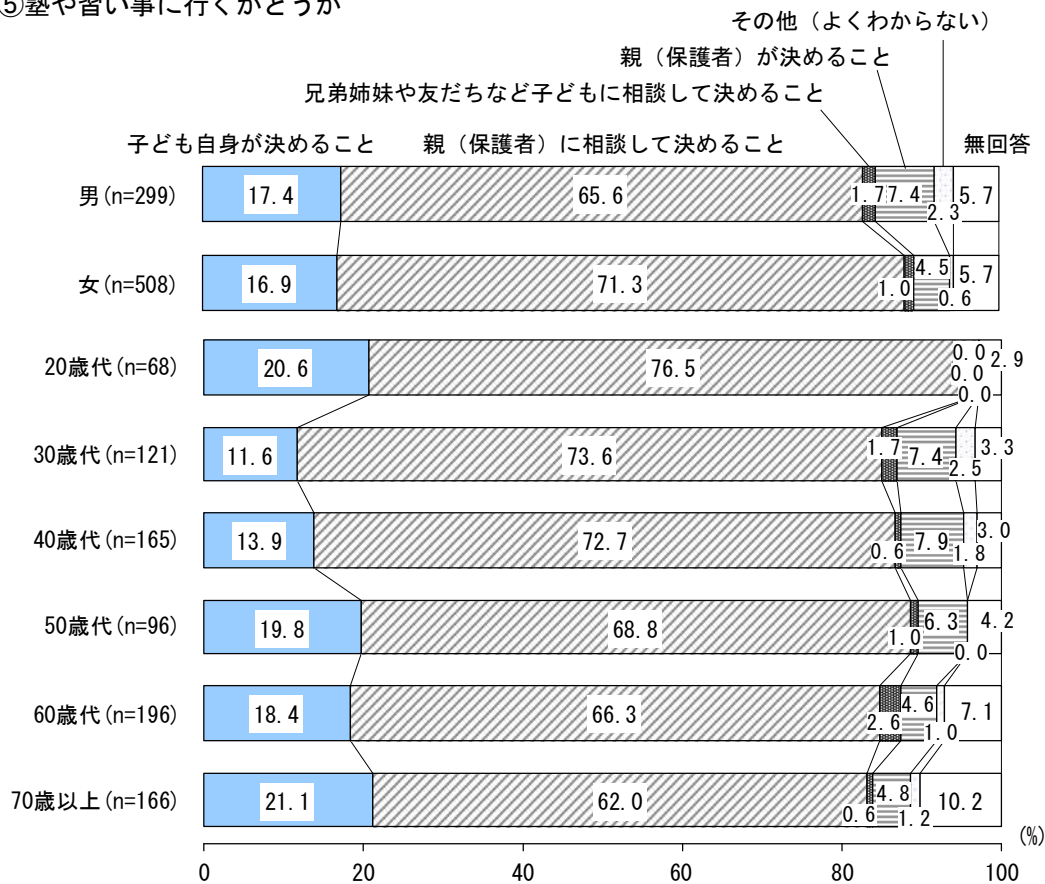


④学校に行くか、休むか

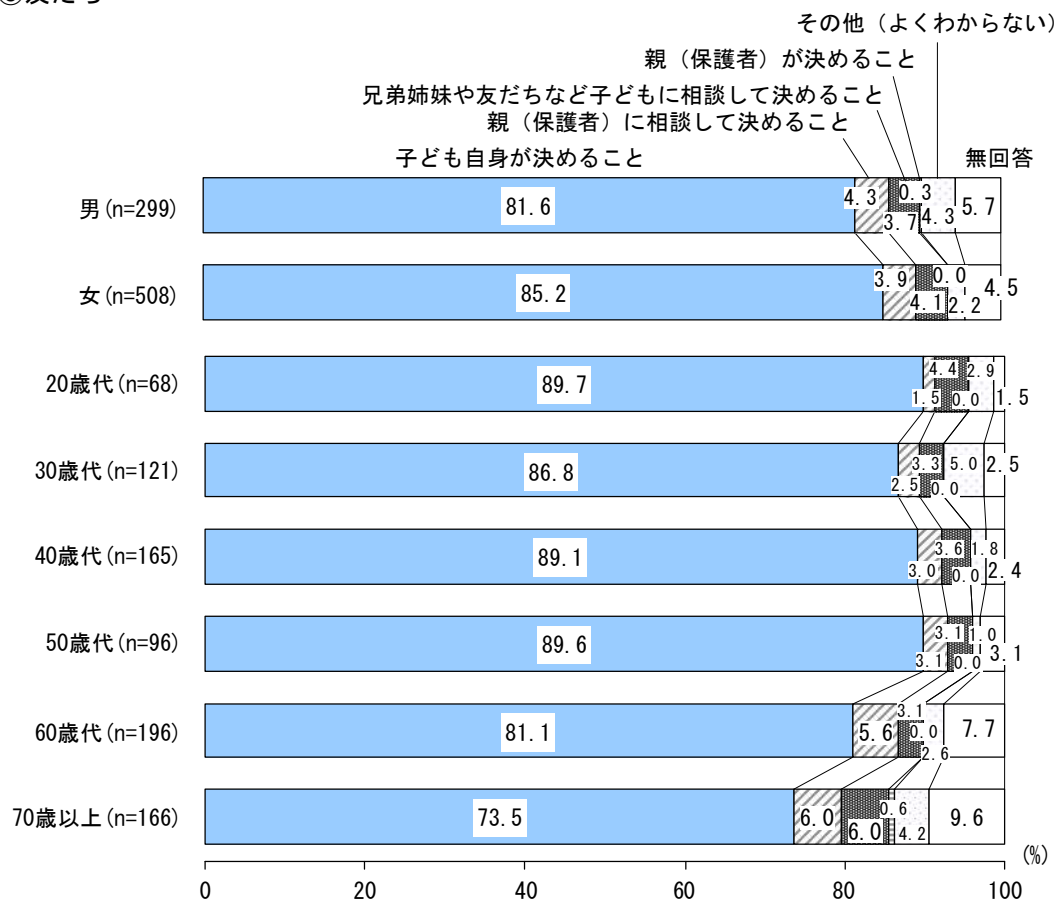


【図Ⅲ-3-5-① 子どもの自己決定の状況③】

⑤塾や習い事に行くかどうか

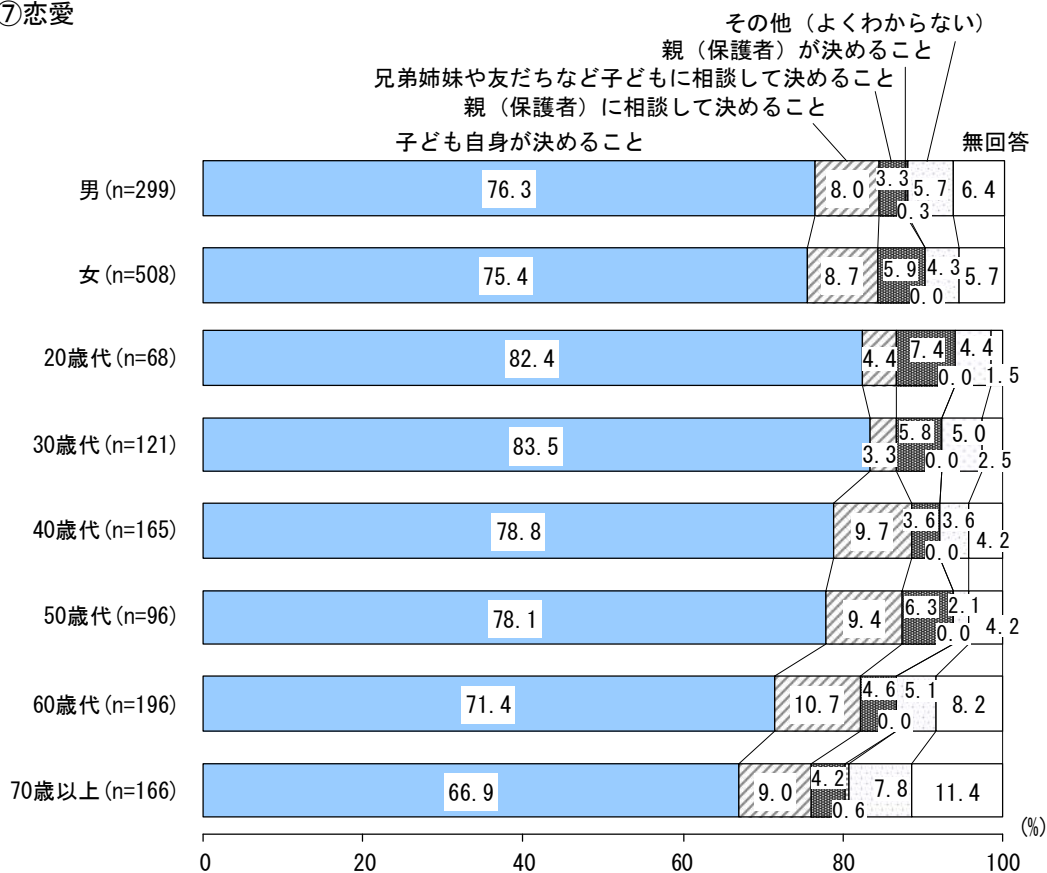


⑥友だち

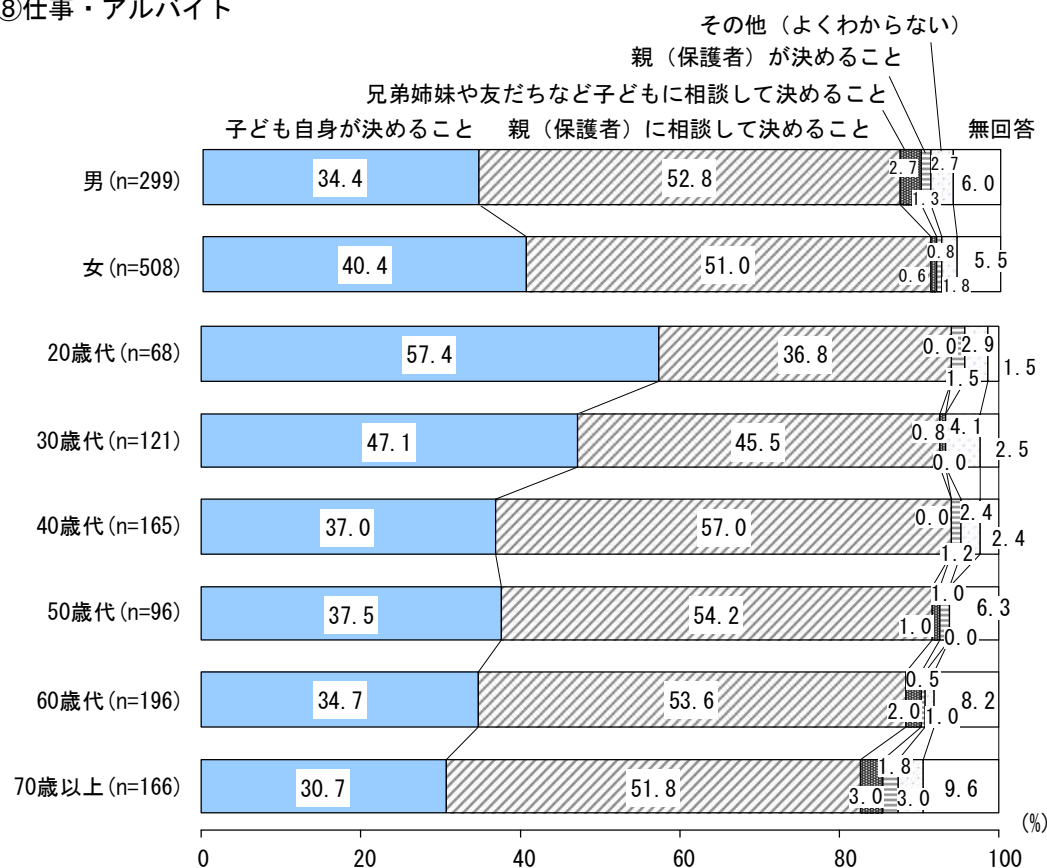


【図Ⅲ-3-5-① 子どもの自己決定の状況④】

⑦恋愛

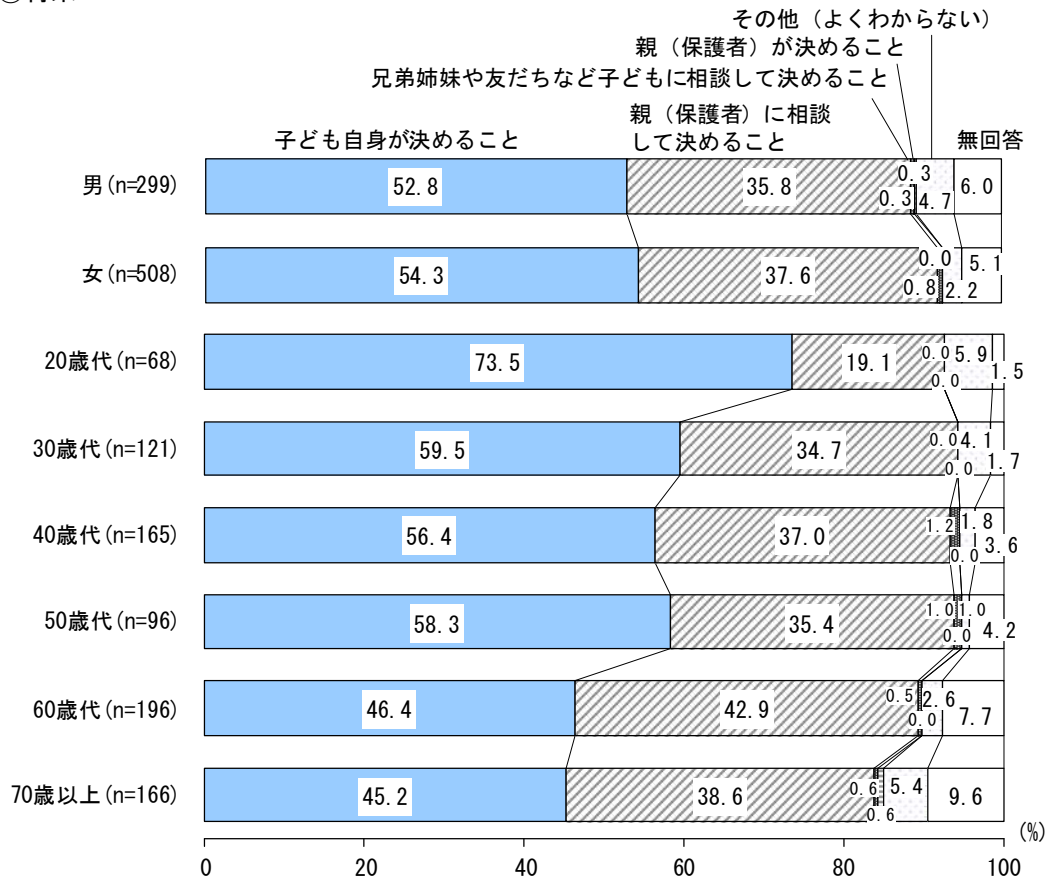


⑧仕事・アルバイト



【図Ⅲ-3-5-① 子どもの自己決定の状況⑤】

⑨将来



6. 自由意見

調査票の最後の自由意見欄には、延べ313件の回答が寄せられた。記入内容別の件数を表にまとめると、以下のとおりである。

問14 奈良市の子どもに対する施策についてご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。	件数
出産、子育ての支援や補助を充実させてほしい	32
公園など遊び場所が少ない、増やしてほしい、整備してほしい	25
地域全体が子どもに関心を持ち、見て見ぬ振りをしない	24
親がしっかりと子どもを教育する環境を整備してほしい	22
子育てのしやすい安心で明るい地域づくりを考えていきたい	20
通学路を整備する、登下校時は安全にしてほしい	20
学校の設備、取り組みなどを充実させてほしい	20
託児所、保育園や学童保育などを増やしてほしい、整備してほしい	12
学力向上の為に施策をたててほしい	12
アンケートについての疑問、不満、意見等	11
保育園、幼稚園などのサービスを向上してほしい	10
児童館などの施設などを増やしたり、整備してほしい	10
いじめをなくすための施策をたててほしい	10
アンケートは、子どもの年齢の幅があり、回答が難しい	9
条例、施策についてよくわからない	8
行事や施策などの情報を大きく周知、広報してほしい	8
子どもの安全を強化してほしい	7
子どもがいない、子育てが終わったからわからない	7
施策以外の疑問、要望、意見など	6
他市と比べて奈良市は遅れている	6
子どもに関するその他の疑問、要望、意見など	6
私立中学高校への助成	5
公立学校の教師の質の向上	4
地域の子どもの行事が少ない	4
市は地域の実態を把握してほしい	4
共働き世帯への子育ての支援	3
条例への要望、意見	2
その他、わからない、回答できないなど	2
子どもに権利を与えるなら、少年犯罪の年齢も考えるべきだ	1
子どもが職種体験したり、職場の体験学習などあってもいいのでは	1
健全な子どもだけでなく、いろいろな子どもが平等に保育、教育が受けられるようにしてほしい	1
教育センターを有効活用し、伝統文化や行事への学習を充実させる	1
計	313